



望月 庄子 議員

### 8月定例議会 個人質問

**防災対策について**  
 防災弱者の支援者や避難先を定める避難支援プラン「個別計画」の策定状況を伺う。  
 各地域での「個別計画」の策定を支援し、要支援者が地域の助け合いによって、早目に安全に避難できるように努めていく。

**避難場所では、性犯罪防止目的に、張り紙や防犯カメラが設置されているところもあり、市でも女性専用スペース等考慮されているが、不審者が入り込まない対策について伺う。**  
 女性や子どもを犯罪から守るため、避難者による防犯組織をつくり、立入制限、夜間や周辺を巡回し防犯に努めていく。

**地域の企業(建設業)との連携とケーススタディについて伺う。**  
 佐倉市建設業防犯協会と、災害予防、二次災害防止、ライフラインの応急復旧の協力等について協定を締結している。

**「意見安全で健康に避難生活が送れるよう、トイレ、食事・ベッドの確保、具体的な協力、連携を図っていき、一層の実践的な防災教育と避難訓練参加を強く働きかけ、佐倉市は質の高い防災対策と、災害が起きた後の被害拡大を防ぐ減災対策を推進していくべきだ。」**

### 11月定例議会 個人質問

#### 敬老会と少子化対策と介護の充実について

敬老会を廃止する代わりに地域包括ケアシステムを充実させたことと報道があったが、実際高齢者をとりまく環境は、深刻だ。佐倉市は平成32年要支援、要介護認定者数が7500人を超える事が見込まれているが、対応を伺う。

**空き家・空き地対策と管理体制について**  
 「みずす相談」もできる地域コミュニティの場として空き家を活用することを要請する。  
 地域貢献のための地域活動団体が活用できるよう、改修費等の支援策について検討していく。

**風疹対策とインフルエンザワクチンの確保について**  
 小泉進次郎厚生労働部会長は、2020年までに風疹を撲滅すると述べたが、市の対策について伺う。  
 風疹の注意喚起、抗体検査の

周知、妊婦定期接種対象者の個別対応とともに、国、県の対策と整合性を踏まえ検討する。



為田 浩 議員

### 11月定例議会 代表質問

#### 市長の政治姿勢について伺う

#### 敬老会の見直しの経緯と今後を伺う

敬老会の在り方については議会としてこれまで様々な指摘をし、提言をしてきた。そして当議会はこれからの高齢社会を展望し、敬老会の在り方そのものについても抜本的な見直しについて指摘をし、執行部はこれを受け入れ、早急に見直しを進める旨答弁もしてきたが、2月予算審査終了後、いっぺんの説明も話し合いもなく、突然一方的に敬老会の廃止を決め議会に通知するというやり方は、議会として断じて承服できない。

市の今回の決定と今後の議会対応のやり方は、議会軽視というより議会無視、市長の政治姿勢そのものに問題があると受け止めざるを得ない。このような議会対応が地方自治の根幹である、二元代表制の下で適切であったか見解を伺う。  
 敬老会廃止という言葉が先行しているが、様々な理由

で、今後については形を変えて行っていくと申し上げている。  
 世間一般では佐倉市が今年度で敬老会をやめるというのは既成事実化していると考えている。佐倉市とのやり取りの新聞記事を見てどのような見解か。  
 新聞記事について私はとやかく言うつもりはないが、今後については小学校単位等で行っていくという方針に切り替えた。

### 敬老会今年限り

佐倉市は敬老会を今年限りで取りやめ、敬老会商品券の支給を2019年度から米寿の88歳以上へ、出席率が低くなる。予算を地域にお年寄りが集まるサロンや見守りの事業に充てることとした。  
 また、市は敬老の日に合わせた支給も見直し、17年度は75歳以上への支給を終了し、現在は88歳に1万円、90歳に5000円の敬老会商品券を贈送しているが、90歳への支給は今年度限りとする。敬老会商品券は市内のみで使用でき、高齢者が買物のために外出する機会を増やすため、13年度に始めた。  
 市内の75歳以上の高齢者は13年度の方8499人から2017年度に増加している。

これまでの対応の在り方が適切であったかどうか。  
 何が適切であったかという点と、ちよつとはっきりしないが、皆様に誤解を与えないような、そういうことであれば、その説明の仕方に十分ではなかったということがいえると思うので、その点については反省して今後に生かしていきたいと思ふ。

### 安全安心のまちづくりを

佐倉市では、災害時の避難生活に特別な配慮を必要とし、一時避難所での生活が困難な高齢者や障害者を始めとする要配慮者に対して福祉避難所を設置することとなっているが、最近の熊本地震、西日本豪雨等、大規模災害時には、福祉避難所が担い手不足等により設置できなかったら、機能しなかったとの新聞記事があった。今後大規模な災害が起こりうることを考えると、要配慮者が避難生活を送ることのできる福祉避難所は、大変重要な役割を担うことから、必要に応じて福祉避難所設置・運営マニュアルを見直すなど、福祉避難所が機能するよう実効性を高めることが必要と考えるが市の見解を伺う。

福祉避難所・運営マニュアルについては要配慮者の高齢化に伴う増加や、実際に被災した自治体での福祉避難所の設置状況等から、実効性を高めるための見直しが必要と考えている。現在、福祉避難所を設置したことのある自治体が災害を踏まえて見直した福祉避難所運営マニュアルなどを参考に、本マニュアルを見直しているところである。

「通学路の安全確保について意見」地域の子どもは地域で守るという観点から、学校、保護者、地域が連携して「尽力」いただいているが、防犯カメラの設置の検討などといった歩先の積極的な対策をお願いしたい。

### 11月定例議会 個人質問

#### 敬老の集いについて

突然の中止が発表された敬老の集いですが、多くの方が、本年限りで中止という認識になっている事は感じるか。  
 皆様が出発して受け止めていく認識について。

現在の佐倉市の敬老の集いに関する見解を一度白紙に戻し、再度皆様とご相談しながら見直し作業を二からはじめたい。事が最善だと考えるが、理解いただけるか。  
 以前より継続を願っていたが、課題が浮き彫りになった。この課題をいかに克服できるか議会や関係者にご相談する事はやぶさかでない。

### ゴミ減量について

ゴミの減量には意識的なものも作用すると思う。又、ライフスタイルが多様化する中で、一回り小さいゴミ袋があってもいいのではないかと。  
 より小さなゴミ袋の導入の可能性について慎重に検討している。

# 佐倉市議会 さくら会 議会だより

平成31年 新春号

編集・発行 / 佐倉市議会さくら会  
 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97  
 佐倉市議会内  
 ☎043-484-1111(代)  
 さくら会会派室(内線2532)  
 ※再生紙を使用しています。



# 未来へつなぐ

本年もよろしくお祝い申し上げます。佐倉市議会「さくら会」一同

## さくら会メンバー新年のごあいさつと抱負

<p><b>押尾 豊幸</b> 会長        今年度は元号が変わる節目の年です。これを機に佐倉市街づくりの新たなスタートとし、行政・議会・市民との情報提供、共有の重要性を認識し、選ばれた街「佐倉」を目指し、あらゆる政策を推進していかなければなりません。</p>	<p><b>川名部 実</b> 幹事長        本年は、新しい時代の幕開けの年です。市議会議員として初心に立ち返り、二元代表制の下で地方自治の基本的な目標である住民福祉の向上のため、建設的な提言をしてまいります。</p>	<p><b>櫻井 道明</b> 議長        本年もよろしく御願いたします。皆様の声を市政に活かします。</p>	<p><b>中村 孝治</b> 議員        本年も消防出初め式が行われ、佐倉市の災害対策を担う消防団職員の皆さんを頼もしく思うと共に、本年が大規模災害の無い年になるようお祈り申し上げます。</p>	<p><b>清宮 誠</b> 議員        夢よりも介護記録となる賀状。少子高齢化の中で市民の頑張りを総合戦略が進行する中で、佐倉に住み続けたい人も多。地域の未来は、市民、自治体と共に。</p>	<p><b>山口 文明</b> 議員        謙虚に、市民の皆さんの声に耳を傾け、元氣いっぱい全力で取り組めます。高齢者の皆さんが生きて甲斐と幸せを感じることができ、優しく思いやりのある施策を推進します。</p>	<p><b>村田 穰史</b> 議員        市民の皆様の声を市政に反映する事が議会の役割であると考えています。役所体質からの早期脱却を実現し、是々非々の姿勢を貫いてまいります。</p>
<p><b>石渡 康郎</b> 議員        今年がまた、節目の年です。少子・高齢化対策を始めとした様々な施策をバランスよく展開し、市民の皆様が安心して元氣に暮らせるまちづくりを進めて参ります。</p>	<p><b>為田 浩</b> 議員        嬉しいこといっぱい、楽しいこといっぱい、元氣いっぱい笑顔が溢れる、どこよりも幸せを感じていただける優しいまちづくりに全力を尽くしてまいります。</p>	<p><b>平野 裕子</b> 議員        これからの佐倉市と子ども達の夢ある未来の為に、熱意と愛と行動力が必要です。自らが行動し、多くの方々と議論を重ね、初志貫徹、全力で行動して参ります。</p>	<p><b>高木 大輔</b> 議員        「こどもが主役のまちづくり・福祉の充実・産業振興」政策を建設的・発展的に取り組み、「文教都市の実現」に向けて全力で取組んで参ります。</p>	<p><b>敷根 文裕</b> 議員        佐倉市の少子高齢化、産業・雇用創出「コミュニティの再生」、社会インフラの整備、犯罪抑止・災害対策等に対して具体策を提案し今後もしっかりと参ります。</p>	<p><b>望月 庄子</b> 議員        新しい元号に変わる歴史的本年が、佐倉市の輝かしい未来の幕開けになるよう、市民の皆様により愛されるまち「佐倉」を目指して活動してまいります。</p>	<p><b>望月 庄子</b> 議員        新しい元号に変わる歴史の本年が、佐倉市の輝かしい未来の幕開けになるよう、市民の皆様により愛されるまち「佐倉」を目指して活動してまいります。</p>

佐倉市議会さくら会 「さくら会」は、地方分権が進む中で、議員の倫理及び資質を高めて、佐倉市議会のより一層の充実を図るとともに、快適で安全な佐倉市を創ることを目的とする。

「さくら会則第3条」  
 今年がまた、節目の年です。少子・高齢化対策を始めとした様々な施策をバランスよく展開し、市民の皆様が安心して元氣に暮らせるまちづくりを進めて参ります。

